

卒業生紹介

Kanako Onishi 大西 可奈子

所属：ヤフー株式会社

- 2006年 3月 お茶の水女子大学理学部情報科学科卒業
- 2007年 9月 同大学院人間文化研究科理学専攻博士前期課程修了
- 2009~2010年 Strathclyde大学へ留学(若手研究者ITP)
- 2012年 3月 同大学院人間文化創成研究科理学専攻博士後期課程修了 博士(理学)
- 2012年 4月 株式会社NTTドコモ入社
- 2016~2018年 国立研究開発法人情報通信研究機構(出向)
- 2020年10月 ヤフー株式会社へ転職(現在に至る)

人とロボットが
対話する
未来を夢みて

R1 現在のお仕事につくまでの経緯を教えてください。

子供の頃から鉄腕アトムのような、おしゃべりロボットを作ることが夢でした。その夢を叶えるべく、大学時代には情報科学の中でも特に自然言語処理に関する勉強や研究を行いました。大学卒業後はその知識を活かし、NTTドコモで対話システムの研究開発から対話サービスの提供まで携わりました。途中、情報通信研究機構(NICT)に出向しましたが、そこでも対話システムの研究を行いました。私が目指したのは対話システムの中でも「雑談対話」と呼ばれる、明確な目的のない対話です。雑談対話は人にとっては簡単ですが、コンピュータで実現することは非常に難しい課題で、今も人間のように話ができるコンピュータは存在していません。この課題に8年半向き合った結果、一定の成果を挙げ、また今できることはやり切ったという思いが強くなり、2020年に転職を決意しました。それまで雑談対話という明示的に役に立つわけではない自然言語処理に携わってきていましたので、今度は明確に人の役に立つ分野に関わろうと考えました。自然言語処理で人の役に立つこととして

最初に浮かんだのが、カスタマーサポート領域への技術の適用でした。それを実現できる会社を探し、現在のヤフー株式会社への転職を決めました。ただ、今も雑談対話を諦めたわけではありません。良いタイミングでまた雑談対話についてもチャレンジし、家族の一員になり得るおしゃべりシステムを開発したいと思っています。

R2 現在のお仕事内容を教えてください。

現在は、ヤフーの数多あるサービスのカスタマーサポート領域に、AI技術を取り入れ機械化を促進するプロジェクトをリードさせていただいています。具体的には、現在人手で行っている作業のどこを機械化すべきか、機械化する場合どのような技術を用いるべきか、AIの運用はどのように行うか、などを検討し、実現までを担っています。素晴らしい技術は、実際に用いられ、コストの削減や精度の向上に貢献することで真価を発揮すると思っています。技術を現場に持ち込む場合は机上では発見できない現場ならではの課題が数多く出てきますが、そのような課題を一つ一つ解決しながら様々な業務にAI技術を導入できることがとても楽しいです。

R3 お茶大での学生生活は、現在の仕事にどう生きていますか？

お茶大での学生生活は丸10年に及び、その間、学部、修士課程、博士課程に在籍し、留学も経験させていただきました。その間学んだ知識や技術はもちろん仕事で役に立っていますが、それよりも大きいのは、特に博士課程時代の研究生活だと実感し

ています。研究は、課題の発見から解決策の検討、そして実現と評価までをすべて自分でこなさなければなりません。解決のために協力者を募ることもあれば、有識者に教えを乞うこともあります。答えのない課題に挑み、失敗を重ねながらも期日までにやり遂げる力は、研究職に限らず、会社で仕事をする場合において最も重要な力の一つです。私は博士課程での日々があったからこそ、今こうして頑張れているのだと確信しています。

R4 在学生へのメッセージをお願いします。

人生においては大学入学も就職もゴールではありません。大学も会社も、自分の目的を達成するための一手段に過ぎないのです。日々の勉強を怠らず、自分自身が成し遂げたいことに全力を注いでください。その上で、現在の日々を思いっきり楽しんでください。大学で学んだことや経験したこと、出会った人々が、その後のみなさんを強力にバックアップしてくれることと思います。

担当：基幹研究院自然科学系准教授
工藤和恵



わたしのオフタイム

数年前にワインにはまり、どうせならとことん極めようと考え、昨年、日本ソムリエ協会のワインエキスパート試験に合格しました。日々、ワインの奥深い世界に魅了されています。

